

佐世保市立猪調小学校

〒859-6133

所在地 佐世保市立江迎町猪調1000番地

校長 鶴田和久

児童数 113名(10学級)



★ 学校教育目標 ★

静と動のけじめをつける
～つなぐ力・つながる力をもとにして～

1 テーマ ★ か が や け ★

2 目的

<ul style="list-style-type: none"> ○ かんがえる子を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・将来に夢や希望をもち、目的をもって、自ら考え学ぶことができる子 ○ がんばる子を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・すすんで心身を鍛え、困難なことにも粘り強く挑戦しようとする子 	<ul style="list-style-type: none"> ○ やさしい子を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな感性をもち、地域を愛し、思いやりをもって命を大切にできる子 ○ けじめのある子を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・集団生活のきまりが分かりわがまを自制し、規律ある行動ができる子
--	---

3 実践内容

(1) かんがえる子

- ・校内研修で「主体的・対話的で深い学び」に沿った授業改善を行い、基礎・基本の徹底と活用力の向上を図っている。
- ・学力向上の一環として、毎週月曜日に「学習タイム」を設定し、全職員と地域の丸付け先生が一緒になって指導にあたっている。また、各学年学力テストの結果を分析し、個に応じた支援や国語・算数のプリント等をしながら不得意分野の克服に向けて取り組んでいる。



<研究授業>

(2) がんばる子

- ・持久力や心身を鍛えるため、毎朝、各自が目標をもち、縄跳び及びランニングを行っている。

(3) やさしい子

- ・いじめ根絶を含め、思いやりのあるやさしい心を育てるため、心に響く道徳の授業実践に力を入れている。
- ・児童会が提案して行った「あいさつ向上計画」で地域の方に気持ちのよい挨拶を行うための方法を考えさせ、相手意識をもって行動できる姿勢を育てる。



(4) けじめのある子

- ・「静」と「動」のけじめのある学校生活や徳育推進として3つの「あ」（あいさつ、ありがとう、あとしまつ）3つの「し」（静かに歩く、静かに待つ、しっかり聞く）の推進を図り安全な廊下歩行等、生活指導の徹底を図る。 <3つの「あ」の掲示>

(5) 各学年の取組～地域の「ひと・こと・もの」を生かした体験活動を通して～

【全学年】～保幼小連携～

- ① 活動名 第1・2学年「園で遊ぼう」(6月)
- ② 活動のねらい
 - 来年度入学する年長さんと共に遊ぶ体験をとおしてお互いのことを知り、年長児の不安を取り除くとともに、学校生活に期待を持たせるようにする。
- ③ 実践の場
 - 青い実幼児園・潜竜聖母幼稚園 園庭
- ④ 活動内容
 - あいさつをしよう。
 - 園庭で遊ぼう。
 - ゲームを楽しもう。
- ⑤ 成果と課題
 - 各園の年長児は小学生とふれあうことで、1年生になる憧れや希望をもつことができた。
また、1・2年生もお世話をすることで、年上としての自覚をもつことができた。
 - 保幼小連携を続けてきていることで、保幼小の職員間の意思疎通もスムーズにでき、良い連携がとれていると感じた。



- ① 活動名 第1学年「小学校を知ってもらおう」(2月)
- ② 活動のねらい
 - 幼稚園の子どもたちに小学校の様子を知らせ、小学校生活やいろいろな学習について知ってもらおうとともに、学校生活に希望をもてるようにする。
- ③ 実践の場
 - 猪調小学校 1年生教室
- ④ 活動内容
 - 自己紹介をしたり、名前を書いたりして知り合う。
 - 歌を歌ったり、朝顔の種をプレゼントして親しむ。
 - 学校探検をして、猪調小学校を知ってもらう。
- ⑤ 成果と課題
 - 最初は遠慮がちだった園児も、慣れてくると楽しめるようになった。活動前と比べると、学校生活に対する不安は取り除かれる効果も見られた。次年度、入学しても小1プロブレムに陥らない効果もみられると感じた。
 - 1年生は交流をとおして、園児たちにどのように接していけばいいのか学ぶことができた。交流前と比べて随分優しさや思いやりの心が育った。



【第3学年】～農作物栽培～

① 活動名 「野菜作りをしよう」(6月～1月)

② 活動のねらい

- 農作物栽培活動を通して命の尊さ、生命の成長の喜びを実感させる。
- 地域の農家の方にご指導していただき、一緒に育てることにより、農産物に興味をもたせる。

③ 実践の場

- 保護者所有の地域の畑

④ 活動内容

- とうもろこしの種まき、畑への苗の移植等栽培活動及び観察・記録を行う。(6月)
- とうもろこしを収穫する。(9月)
- お世話してくださった地域の方への感謝の気持ちを手紙等で表す。(1月)



⑤ 成果と課題

- 種まき、種の植え付けから収穫まで、年間をとおして、野菜の成長を実感的に学習することができた。地域の方だけではなく農協の方々の協力もあり、とうもろこしの生育や栽培方法を詳しく教えていただけた。収穫したとうもろこしは自分たちでゆがいて食べた。食育にもつながるよい体験ができた。

【第4学年】～福祉・伝統文化学習～

① 活動名 「繭玉作りをしよう」(11月)
「福祉について考えよう」(12月)

② 活動のねらい

- 江迎町に古くから伝わる繭玉作りをとおして、地域の方との交流を図るとともにふるさと江迎を大切に思う心を育てる。
- 介護事業所の方とのふれあいをとおし、高齢者を大切にしようとする気持ちをもたせる。



③ 実践の場

- 本校図書室、江迎介護事業所

④ 活動内容

- 地域の婦人会の方をゲストティーチャーに招き、繭玉の作り方を習う。(11月)
- 介護事業所を訪問して高齢者と交流する。(12月)



⑤ 成果と課題

- 地域の方に教えてもらいながら繭玉を作る。江迎町に古くから伝わる伝統工芸を体感することで、ふるさとを思う気持ちが以前と比べて強くなった。
- 高齢者の方とのふれあいでは、ゲームなどを行った。子どもたちはたいへん楽しく活動し、お年寄りに喜んでもらってうれしそうだった。また、介護事業所の施設見学をとおして、体が不自由な人の立場に立って施設設備が整えられていることを知ることができた。

【第5学年】～キャリア教育～

- ① 活動名 「米作りに挑戦しよう」(6月～10月)
- ② 活動のねらい
 - 米作りに関心を持ち、苗床作りや田植え・稲刈りをとおして、米作りの仕事や農家の方々の思いについて考えるとともに、食育をとおして食べることの大切さを考える。
 - おにぎりパーティーにゲストティーチャーの方々を招待し、感謝の気持ちを表すとともに、体験したことや調べたことをわかりやすく伝えることができるようにする。
- ③ 実践の場
 - 地域のゲストティーチャーから苗床や田をお借りして、学校で苗を作り、田植え・稲刈り、脱穀の大変さを知る。
 - 関わってくださった方への感謝の気持ちや学習の成果を、「おにぎりパーティー」で披露する。
- ④ 活動内容
 - 社会科の授業と関連させて、種籾から苗床を作り田植え・稲刈り・脱穀に取り組む。(6月～10月)
 - グループに分かれ、田植えから稲刈りまでの作業について、関心をもったことについて調べ学習を行う。(6月～10月)
 - 調べたことを一人一人まとめる。(10月)
- ⑤ 成果と課題
 - 社会科の学習と関連づけながら、調べ学習、体験を通してまとめて発表するという一連の学習の流れを経験することができた。
 - 感謝の気持ちをゲストティーチャーの方や地域の方々に伝えようということで意欲を高めることができた。
 - 家庭科の調理実習で、おにぎりパーティーを開催し、ゲストティーチャーの方々を招待した。できたお米を炊いて食べることで、食育と関連づけて指導することができた。



【第6学年】～郷土学習～

- ① 活動名 「わたしたちの町猪調とエネルギー」(12月)
- ② 活動のねらい
 - 炭鉱から火力発電、そして風力発電への移りかわりを調べることをとおして、自分たちが住む猪調のよさに気づいたり、今後の自分の生活を深く考えたりする。
- ③ 実践の場
 - 総合的な学習の時間において、「炭鉱」「エネルギー」という視点で調べ活動を行う。
 - 学習の成果をパンフレットや壁新聞などにまとめる。
- ④ 活動内容
 - 猪調の「炭鉱」と「エネルギー」という観点から、学習したいことを話し合い、学習計画をたてる。
 - 写真資料や文献、聞き取りなどで昔の猪調の炭鉱の様子について調べる。
 - 鷲尾が岳風力発電所、世知原石炭資料館、九州電力松浦火力発電所などを見学する。
 - 調べたことをまとめ発表する。
- ⑤ 成果と課題
 - 昨年度までの取組を想起させるとともに、学習計画を児童の関心を中心に立てることで、学習意欲を高めることができた。また、実際に自分たちの目で見ることによって、深い調べ活動や効果的なまとめができた。
 - ▲ 見学に際しては、どうしても公共交通機関を利用していくことができず、貸し切りのバス代等の費用が必要である。特色の予算が必須である。

